

第2次奥出雲町総合計画及び第2期奥出雲町まち・ひと・しごと創生総合戦略

第4回審議会 議事録

【開催日時・場所】

令和3年2月17日（水）13:30～15:30

仁多庁舎4階 大会議室



審議会の様子

【議事次第】

1. 会長あいさつ
2. 第3回審議会 委員意見対応について
3. 基本構想・基本計画について
4. 答申書提出
5. その他



答申の様子

【当日配布資料】

- ・ 第4回審議会 次第
- ・ 審議会委員名簿
- ・ 奥出雲町総合計画デザイン装丁案

【事前配布資料】

- ・ 第3回審議会 委員意見対応資料……………資料1
- ・ 第2次奥出雲町総合計画・第2期奥出雲町総合戦略 基本構想（案）……………資料2
- ・ 第2次奥出雲町総合計画・第2期奥出雲町総合戦略 基本計画（案）……………資料3
- ・ 人口ビジョン目標説明資料……………参考資料1

【出席者名簿】

順不同 ◎会長、○副会長

区分・所属		氏名	団体役職等	出欠席
委 員		有田 昭一郎	中山間地域研究センター 企画情報部 研究企画監	出席
		岩佐 俊秀	奥出雲町自治会長会連合会 会長	出席
		植田 良二 ○	奥出雲町商工会 会長	出席
		島 啓司 ◎	社会福祉法人奥出雲町社会福祉協議会 会長	出席
		藤原 卓	雲南医師会仁多ブロック	欠席
		堀江 康輔	仁多郡森林組合 代表理事専務	出席
		金倉 弘美	奥出雲町農業委員会 会長	欠席
		村尾 明利	奥出雲町土地改良区 理事長	出席
		福田 浩文	仁多郡農業士会 会長	出席
		若月 ゆかり	奥出雲町連合婦人会 会長	出席
		村尾 紀代之	奥出雲町消防団 団長	出席
		山本 勝昭	奥出雲町民生児童委員協議会 会長	出席
		藤原 直人	社会福祉法人 仁多福社会 理事長	出席
		黒田 克司	島根県立横田高等学校 校長	欠席
		藤原 稔	仁多郡小中学校長会 会長	欠席
		足立 維久子	仁多福社会園長会 代表	出席
		石原 武志	奥出雲町議会 総務経済常任委員会 副委員長	出席
		大垣 照子	奥出雲町議会 教育福祉常任委員会 委員	出席
		和泉 恵	奥出雲町観光協会 理事	出席
	三好 英世	山陰合同銀行三成支店 支店長	出席	
事務局	奥出雲町	勝田 康則	町長	出席
	奥出雲町	藤原 努	副町長	出席
	奥出雲町	江角 啓	企画財政課長	出席
	奥出雲町	石原 耕司	企画財政課長補佐	出席
支援 事業者	(株)コスモブレイン	實重 彩香	技術部計画課 計画第2課長	出席
	(株)コスモブレイン	大内 智弘	技術部 部長	出席
	(株)コスモブレイン	上代 美帆	技術部計画課 技術員	出席
	(株)コスモブレイン	岡 利文	顧問	出席

【議事録】

1. 会長あいさつ

2. 第3回審議会 委員意見対応について

(事務局説明記録省略)

大垣委員	<p>基本計画の P3 農業の振興で、奥出雲町の状況(現状と課題)のところで、「今後は農地の集積やスマート農業の活用、集落営農等の法人化、日本型直接支払制度等により、農地を守り、活かす取組を推進する必要があります。」とある。実際今後の農業について、スマート農業は良いが、集落営農等の法人化が進められてきている。これは 10 年計画で、今後 10 年先に法人化をしたことによって農地が集積するが、法人の中で仕事している方々は高齢になっていく。後継者を育てることで法人化も上手く継続して行うことができる。後継者の育成に取り組んでいかないと 10 年先の農業環境が大変な状況になるので、そういう点について提言が必要である。</p> <p>また、現状この町だけの問題ではないが、有害鳥獣の問題がある。各地域で、共同作業によりメッシュやトタンを張るなどの対策がされているが、1 人 2 人では、自分の農地を守れないという問題もある。有害鳥獣を捕獲して殺処分してもらえると良いが、ハンターが減少する中で有害鳥獣が増加している現状もある。仕方ないで済ませるのではなく、具体的な対策があると良い。そういった面からも営農活動ができなくなることを心配しており、対策を立てる必要がある。</p>
島会長	<p>今の意見に対しては、2 つあったかと思うが、ページ右側の取組の (1) ~ (5) の中に入れ込むことができるものとそうでないものがあると思う。今ある項目に入れ込むのか、新しく項目を追加するのか。</p>
農業振興課	<p>大垣委員からご質問頂戴したが、担い手の対策については大きな問題であり、奥出雲町に限らず全国的な問題である。これについては「農業の振興」の (1) 農地の維持、管理、保全とは別の項目を設けている。基本計画 P10 の「経営支援・担い手育成」の (1) 地域産業の担い手育成・確保の中で、農業者の UI ターン、地域就農者については別の項目を立てて計上している。</p> <p>有害鳥獣対策については、特段基本計画には入れていない。現在、中山間地域等直接支払交付金や多面的機能支払交付金、その他色々な有害鳥獣対策をもって取組をしている。また町でも狩猟免許取得について助成を行いつつ、有害鳥獣を捕獲する方の担い手もこういった中で取り組んでいく。この中ではこの対策については述べていない。</p>
大垣委員	<p>担い手対策を行わないと、行き詰ってくると思うので、具体的な進め方を出していく必要がある。鳥獣対策についても、町としても対策を立てていただき、捕獲に対する報奨金なども運営していただいている。報奨金の問題も色々あるようで、ハンター同士の中でも問題があると聞いている。この問題は奥出雲町だけで解決できる問題ではない。有害鳥獣は奥出雲町だけでなく、島根県内の山間地を移動するので、対策は町だけではなく、県で一つの対策が必要ではないか。難しい問題ではあるが、対策を立てないと、農業者は体力、精神力を費やされて疲れ</p>

	果てるという現実があるので、話をさせていただいた。
島会長	今の委員のご発言は、基本計画 P3 の (1) 農地の維持・管理・保全の 4 行中に集約できれば集約し、できなければ挿入いただく。10 年後も担い手確保や鳥獣被害の問題についての視点を残しておくことが必要ではないかという意見だった。
事務局	後継者の関係は先ほどの (1) 農地の維持・管理・保全のところで「個別協定の締結や後継者等への経営継承を図りながら」という文言も記載されている。有害鳥獣に関しては欠けている部分があるので、文章の中に広域的な取組みの視点も加えて、事務局で修正させていただく。

3. 基本構想・基本計画について

(事務局説明記録省略)

島会長	最後の冊子については、基本構想と基本計画を合作したものになるというイメージでよろしいか。またこの冊子をどう配布するのか説明頂きたい。
事務局	冊子については、各担当課は当然のこと、議会、関係団体、公民館などにも配布させていただき、ホームページにも掲載する。また最後に説明しようと思っていたが、要約した概要版として、前回 10 年前も総合計画概要版を作っており、今回も概要版を各世帯に全戸配布しようと考えている。
藤原(直)委員	今後の要望だが、担い手不足はどの営業所でも深刻であり、私が日常的に従事している福祉業界、特に介護業界では、人材不足が深刻である。なぜ、より深刻かということ、福祉事業をする上では、人員配置基準を満たさなければ事業ができない。例えば 10 人の基準がある場合 9 人ではできない。50 人の定員のところを運営するのに 9 人しか集まらなければ、40 人しか受け入れられないといったことになる。人はいるが、実際は需要に答えられないという事態に陥りつつある。現に定員を下回って営業している施設もある。その点について、今後さらに具体的な担い手確保という計画を進めるうえで、介護人材の確保を特にお願したい。このコロナ禍でエッセンシャルワーカーという言葉も叫ばれているが、その通りであり、人材が確保できなければ福祉事業が成り立たない。人材確保が地域の人口対策の入り口につながるということは目に見えていることであるので、実施の段階では、学校や町民全体にそういう実情をご理解いただき、ご協力いただけるよう働きかけをお願いしたい。よろしく願います。
島会長	今後の要望事項として捉えさせていただいてよろしいか。特に福祉関係の人材育成というような視点であった。 ご意見が内容であれば次に移らせていただく。この総合計画は行政に関わる方々はもちろん、町民も承知して、議会を通じて政策を要求する場合にも、施策を推進する際にも片手にこの総合計画があることでうまくいくよう、皆様の労作が生きるように努力をお願いしたいと思う。これで総合計画については議論を打ち切り、一つの素案とさせていただくことに意義はないか。

(異議なし)

4. 答申書提出

(島会長から町長へ答申書を提出)

5. その他

(今後のスケジュール説明)
